

補 助 金 等 の 見 直 し 状 況 に つ い て 資料 1

1 「豊山町補助金等交付規則」、「豊山町補助金等交付基準」の制定 【平成23年4月1日施行】

2 個別事業の廃止・見直し

番号	事業 評価 番号	担当部局	補助金等の名称	補助金等の性質	補 助 金 等 の 内 容	評価結果	評 価 結 果 の 内 容	決算額の推移 (千円)			削減額 (H22-H24) (千円)	見直し状況
								22年度	23年度	24年度		
1	1	総務部 総務課	女性行政推進事業補助金	事業費補助	女性行政施策の促進を図るために町内で活動する女性団体及びグループの事業費に対して交付する補助金	見直し (その他)	本来、女性行政を推進する団体を広く対象としているにも関わらず、現状では、事実上「とよやま女性の会」に対する運営費補助となっており、補助制度について広く周知するなど、他の団体に対する補助を可能にする必要がある。	470	470	470	0	町広報等により制度を広く周知する。
2	6		職員互助会負担金	事業費補助	町職員の相互共済を支援するため、豊山町職員互助会の事業費の一部を負担する	見直し (縮小)	福利厚生事業における町負担対象事業を人間ドックのみとする。	2,213	428	534	1,679	H23年度から対象を人間ドックのみとした。
3	8		消防団分団活動費交付金	団体運営費補助	防火・防災思想の地域住民への浸透を図るため、消防団分団へ交付金を交付する	廃止	補助効果が薄いため、要綱及び交付金を廃止する。	90	0	0	90	H23年度廃止
4	11		家具転倒防止器具取付費補助金	事業費補助	家具転倒による被害を防止するために転倒防止器具の購入費に対して交付する補助金	廃止	申請が無い状況を鑑み、本制度は廃止する。	0	0	0	0	H23年度廃止
5	15	住民課	宿泊補助金 (国民健康保険特別会計)	事業費補助	国民健康保険被保険者が町が指定する宿泊施設に宿泊した場合の費用に対して交付する補助金	廃止	他の自治体や保険者が所有する公共施設の利用に対して助成を行っているが利用者は少ないし、健康増進に対する効果は判断しにくい。町では町民全体を対象とする緑の休暇村の宿泊補助制度もあり、国保の宿泊補助制度は廃止する。	18	0	0	18	H23年度廃止
6	16		金融貸付保証保険料補助金	その他	豊山町金融貸付制度の利用者が支払う金融貸付保証保険料に対して交付する補助金	廃止	金融貸付制度は存続するが、保証料の補助は小額であり、補助効果も少ないため廃止する。	0	0	0	0	H23年度廃止
7	17		火葬補助金	事業費補助	豊山町民が死亡し、火葬した場合に交付する補助金	廃止	使用料相当分である5000円の補助は、結果として火葬場の町分担金の上乗せとなっている。また春日井市、小牧市にこの制度はなく、公平性に欠けていることもあり、廃止する。	498	0	0	498	H23年度廃止
8	18	生活部 福祉課	高齢者能力活用推進事業補助金 (シルバー人材センター運営事業費補助金)	団体運営費補助	高齢者の就業を支援するために豊山町シルバー人材センターの運営費に対して交付する補助金	見直し (縮小)	事業の合理化と拡大を図り、自立した運営を確立させることが望ましい。町の補助金を直ちに廃止することは運営上困難であるため、当面、国庫補助と同程度まで削減することが望ましい。	11,000	8,800	7,610	3,390	H23、24年度要綱改正：国庫補助削減に合わせて補助額を減額。経過的支援費を設定。
9	19		老人クラブ連合会補助金	団体運営費補助	老人福祉の増進を図るために豊山町老人クラブ連合会の運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	会員数、加入率ともに減少傾向にある。未加入の高齢者の興味を集め、クラブへの加入に結びつけるため、新たな方策が求められている。また、計画されている事業のうち、補助対象事業項目(レクリエーション事業)について点検を行い、補助に係る予算の執行の適正化を図る。	650	650	540	110	レクリエーション事業費等について内容精査するとともに、補助事業の適正執行について指導している。
10	20		地域老人クラブ活動助成金	団体運営費補助	老人福祉の増進を図るため、地区単位で組織する老人クラブの運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	クラブの枠組みを活用し、地域での支え合いの力を育てていくために何ができるか検討していく必要がある。多額の繰越金がある地区、全体予算のうち総会費用・研修費用への支出が多い地区が見受けられ、これら事業のあり方、自己負担制にするなど見直しが必要である。	2,726	2,709	2,527	199	総会・研修会費用について内容精査するとともに、各クラブ会長を対象とした勉強会を開催する等、適正執行を指導している。
11	21		民生委員協議会補助金	団体運営費補助	民生委員の活動を支援するため、豊山町民生委員協議会の運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	町と地域とのパイプ役を務め、また、関係行政機関の業務に対する貢献は大きいことから継続して補助を行い活動の支援をする。なお、繰越額が増大しており、その整理と補助対象事業項目の点検を行い補助に係る予算の執行の適正化を図る。	779	779	690	89	H24年度要綱改正：補助対象経費を精査した。
12	22		住宅バリアフリー化補助金	事業費補助	要介護者が居住する住宅のバリアフリー化工事費に対して交付する補助金	見直し (縮小)	公益性があり引き続き補助する。しかし、申請世帯に対する所得要件がないため、申請者の資産形成を助けることにもなりかねない。今後、課税世帯を対象から除くなど所得要件を設ける必要がある。	452	258	106	346	H23年度要綱改正：所得要件・回数制限を設けた。
13	23		社会福祉協議会補助金	団体運営費補助	社会福祉の増進を図るため、豊山町社会福祉協議会の運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	組織の運営や事業費の全てを会費等の自主財源でまかなうことは到底望めません。このため、法人の管理・運営に必要な人件費及び事務費等を町が補助していますが、今後においても事務の合理化を行うなど事務費の軽減に努める必要があります。	24,948	24,658	25,358	△ 410	補助事業・単独事業別の事務費の取扱いを精査・明確にした。H24年度から町事業を協議会に移管したため、補助額は増額となった。
14	24		遺族会補助金	団体運営費補助	戦没者の追悼や遺族援護のために豊山町遺族会の運営費に対して交付する補助金	見直し (縮小)	戦没者の追悼とその遺族の慰勞、平和を誓う追悼式は町が事業主体となり、補助対象事業としないこととする。なお、護国神社に関わる費用にかかる補助は宗教的なことから慎重に判断する必要がある。	500	340	260	240	H23年度から追悼式は町事業として補助事業から削除した。その他の補助事業項目についても見直した。
15	25	母子寡婦福祉協議会補助金	団体運営費補助	母子寡婦家庭の福祉増進を図るために豊山町母子寡婦福祉協議会の運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	団体収入の大半を占める自販機収入の取扱いを検討した上で、事業評価を行う。	100	100	200	△ 100	H24年度から自販機収入を町の収入として整理した。H24年度要綱改正：対象経費を精査、算定基準を明確にした。	
16	26	赤十字奉仕団補助金	団体運営費補助	赤十字精神に基づく各種奉仕活動を促進するために豊山町赤十字奉仕団の運営費に対して交付する補助金	見直し (その他)	災害時に備えた炊き出し訓練、福祉保健衛生に関する奉仕(敬老会・フェスティバル・献血協力)など参加する諸行事が多く、補助事業としての必要性は高い。ただし、補助対象事業項目について点検を行い、補助に係る予算の執行の適正化を図る。	856	316	290	566	H23年度は、30周年事業費分を削減。H24年度要綱改正：対象経費を精査、算定基準を明確にした。	
17	28	福祉用具購入助成金	事業費補助	障害者が補装具及び日常生活用具を購入する経費に対して交付する補助金	見直し (縮小)	利用者の公平な費用負担と制度の維持可能性を確保する必要から応分的な費用負担の導入と上限額設定を行う。自己負担率は1/2とする。	142	76	58	84	H23年度要綱改正：助成率1/2・上限額を設けた。	

番号	事業 評価 番号	担当部局	補助金等の名称	補助金等の性質	補助金等の内容	評価結果	評価結果の内容	決算額の推移 (千円)			削減額 (H22-H24) (千円)	見直し状況
								22年度	23年度	24年度		
18	31	生活福祉部	福祉課	心身障害者福祉協会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	スクイプールに置いている自販機の取扱いを検討した上で、事業評価を行う。また、全体予算のうち総会費用・研修費用の支出が多く、これら事業のあり方、自己負担制にするなど見直しが必要である。	600	600	560	40	H24年度から自販機収入を町の収入として整理した。H24年度要綱改正:対象経費を精査、算定基準を明確にした。
19	33			災害貸付金利子補給補助金	利子補給	廃止	要綱制定は東海豪雨の災害による被害の甚大さ受け制度が設けられたものであり、被災を受けた者のうち5人の利用があったが、平成21年度をもって全ての者の償還が終了することから借入金の完済に伴う利子補給補助は廃止とする。	1	0	0	1	H23年度廃止
20	35		保健センター	新型インフルエンザ予防接種補助金	事業費補助	廃止	新型インフルエンザは、予測なしに発生する。新型ワクチン予防接種費補助期間を平成21年10月から平成22年度の国が規定する期間としておりそれ以降の補助は必要ない。	268	0	0	268	H23年度廃止
21	38	建設課	建	町防犯協会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	町における防犯の啓発や防犯パトロール等幅広く活動しているため、引き続き活動を支援していく。今後は、団体活動の自主性を高める必要がある。	807	390	1,007	△ 200	補助対象経費の精査、適切な事業執行の指導を行っている。団体活動の自主性については、引き続き求めていく。
22	39			豊山町交通安全協会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	町における交通安全の啓発や交通安全指導等幅広く活動しているため、引き続き活動を支援していく。今後は、団体活動の自主性を高める必要がある。	3,354	2,390	2,662	692	補助対象経費の精査、適切な事業執行の指導を行っている。団体活動の自主性については、引き続き求めていく。
23	40			交通災害共済加入者補助金	事業費補助	見直し (縮小)	交通事故の観点からの交通弱者が交通災害にあった場合の見舞金制度を補助し、援助していくという考え方から継続していく。しかし、自己負担も必要なため、1/2補助とする。	1,930	372	322	1,608	H23年度要綱改正:補助率を1/2とした。
24	45			ふれあい農園事業補助金	事業費補助	見直し (その他)	町民に対し土に親しむ機会を提供するため、町民農園開設者に対して交付する補助金	2,590	0	0	2,590	H23年度から、農園開設者への補助制度から農園利用者への貸付制度に改正した。
25	47			農業改良事業補助金	事業費補助	廃止	良質米の生産のために種子更新の推進を目的として農協が実施する事業経費に対して交付する補助金	87	0	0	87	H23年度廃止
26	52			都市計画課	設	浄化槽転用雨水貯留施設設置補助金	事業費補助	見直し (要綱改正)	補助金額の妥当性について、貯留量の小さいものは補助対象外とする等、貯留量に応じた補助金の交付を検討する。事業としては雨水流出を抑制し、浸水被害に強い街づくりを目指すためにも必要と考える。	2,434	2,500	2,500
27	55	経営改善普及管理事業費補助金	団体運営費補助			見直し (縮小)	自主財源の確保という点において商工会の努力が足りないと言える。また、現状では人件費以外の管理費等についても補助対象経費に含まれているため、対象を人件費に限定する必要がある。さらに、地域手当の町基準(3%)を超えた分については補助対象にしないよう見直す必要がある。	1,500	523	495	1,005	H23年度要綱改正:対象経費を人件費・福利厚生費に限定し、その内容も精査した。
28	56	産業まつり事業費補助金	事業費補助			見直し (その他)	長年に亘り町民に親しまれている事業としての実績がある。しかしながら運営方法の工夫により、経費の削減や収入を増やすことも可能であるため、今後も地域産業の発展及び地域活性化につながるよう、本来の行事の趣旨として必要な事業内容であるか再検討を求める。	1,500	1,408	1,500	0	事業内容の再検討を求め、一部の事業の見直しを図った。
29	58	企業経営健全化事業費補助金 (社)名古屋西法人会豊山支部運営費補助金)	団体運営費補助			見直し (休止・要綱改正)	名古屋西法人会は、平成23年度に支部の再編成を予定している。再編成が実施された場合、豊山支部は西春、師勝支部と統合されることになっており、要綱上の交付団体は西法人会豊山支部となっているため、補助事業を休止するか要綱を改正する必要がある。	400	200	200	200	H23年度要綱改正:対象事業を北名古屋・豊山支部豊山グループの実施事業に限定した。
30	59	消費生活研究グループ補助金	団体運営費補助			見直し (要綱改正)	みのり会の貢献度は高く、今後も積極的な活動が期待されるが、学習会や研修会の内容については実践的なものに見直しを求める。また、消費者問題について広く町民に関心をもってもらうため、みのり会以外の消費生活研究グループに対しても補助ができるよう要綱を見直す。	100	100	100	0	H23年度要綱改正:消費生活にかかる10人以上のグループを対象とした。みのり会の事業内容についても見直した。
31	65	生涯学習課	教 育 部	文化協会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	本町の文化芸術を底辺で支え、リードする文化協会の活動は町費によって補助することが適切である。しかし、今後は会費等の自主財源を増やすとともに、徐々に事業費補助へと方向転換を図っていくべきと考える。	3,800	3,800	3,800	0	会費収入、事業収入等自主財源を増やすよう努力を促している。H25年度に1団体新規加入。
32	67			スポーツ少年団補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	自主財源が乏しいため、様々な行事をより効率的に行うことが必要である。しかし、スポーツ少年団は明日の豊山町を担う子どもの健全育成を担う団体であり、引き続き、財政的にも人材的にも補助していく必要がある。事務局の自主運営化については、将来的な課題として検討していく必要がある。	4,000	4,000	4,000	0	事務局の自主運営化に向けた努力を促している。
33	68			体育協会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	37年もの間、町内のスポーツ振興に大きく携わっている団体であり、大会等の自主事業も多い。今後も同様の規模で運営を行っていく必要があり、補助を継続する。しかし、今後は会費等の自主的な財源を増やすとともに、徐々に事業費補助へと方向転換を図っていくべきと考える。	5,800	5,800	5,800	0	会費収入、事業収入等自主財源を増やすよう努力を促している。
34	70			子ども会連絡協議会補助金	団体運営費補助	見直し (その他)	子どもの健全育成のために豊山町子ども会連絡協議会の運営費に対して交付する補助金	1,600	1,600	1,600	0	事務局の自主運営化に向けて、自主財源を増やす等の努力を促している。
35	71			緑の休暇村宿泊費補助金	事業費補助	見直し (縮小)	この制度を利用した住民からは好評な意見が寄せられ、家族や友人との旅行など、この制度の目的とした余暇活動に活用されていることは評価できる。しかし、制度発足後相当期間を経て、一定程度の事業定着が図られたものと思われるので、補助の限度を2回から1回に見直しを行う。	2,262	952	979	1,283	H23年度規程改正:1回あたりの補助額の減額、補助回数を2回→1回
合計								78,475	64,219	64,168	14,307	